8　本時の指導過程

	学習内容	学習活動	指導上の手だてと留意点	評価の観点
導入 5 分	・各自のIDでサインイン ・本時の確認	・個々に与えられたIDでサインインし、Excelを起動する ・本時の目標を確認する A.関数の利用 B.処理条件２.の計算指示を計算式にする	・コンピュータが正常起動し、エクセルの準備ができているか確認する ・目標を確認できるように、教師側に注目させる 学習課題：各自のペースで進んでいる「練習問題」の処理条件を理解し、計算式化できるのだろうか。	・サインインし、起動からExcelの入力準備までがスムーズに実行しているか　③ ・前時の内容を理解しているか　①
展 開 35 分	・表の作成	・練習問題の処理条件を確認する A.関数の利用 ・SUM関数の利用　～　=SUM(A1:A10) 合計する範囲 ・AVERAGE関数の利用　～　=AVERAGE(A1:A10) **※結果が少数点以下も表示される**　平均する範囲 **これについては、表示形式の変更で対応** B.計算式にする 四則演算子の確認 ［＋］　→　〈＋〉 ［－］　→　〈－〉 ［×］　→　〈＊〉 ［÷］　→　〈／〉	・解らない時は教科書や補助教材を参照するように説明する	・説明を聞いているか　①
		・練習問題の表を作成する	・生徒とコミュニケーションをとりながら机間指導をし、表の作成が手順よく行われているか確認する 場合により、コンピュータの操作に慣れている生徒が他の生徒にアドバイスを与え作成する ・机間指導の中で、ミスの多い部分を確認し、本時のまとめのときに説明する	・作成手順に従って、表の作成が行えているか　②③
整理 5 分	・本時のまとめ ・次時の確認	・模範例を確認する ・ファイルを保存する ・コンピュータを終了させる ・関数の注意点を説明する	・模範例のプリントを配布し、確認させる ・保存できたか確認する ・コンピュータにトラブルがないか確認する ・AVERAGE関数の範囲指定の注意点を答えられるか	・ファイルを保存し、正しく終了することができたか　③